

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 3月 28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470204276		
法人名	有限会社ネクストライ		
事業所名	グループホームきらら		
所在地	広島県広島市中区千田町2丁目8-22 (電話) 082-545-5255		
自己評価作成日	令和2年3月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470204276-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年3月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>『愛・笑顔・元気・安心』という施設目標・スローガンを掲げ、入居者様、一人一人が輝き、生きがいをもって【普通の生活】を送り支援を行なえるよう、個々の想いや家族様の想いを大切に、季節毎の行事や日々のレクリエーションを行なっています。地域の中において、地域の清掃に参加したり、保育園との交流、地域の夏祭りに参加させていただきながら、地域に溶け込むように工夫しています。</p> <p>日常の支援においても入居者様に寄り添い、入居者様にとって施設が「我が家」になるよう、一人一人の居場所を大切に安心して生活できるよう支援しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>最近の特徴的な取組みとして第一に「本人と共に過ごし支えあう関係」「食事を楽しむことのできる支援」に深化が見られる。即ち、施設目標である「普通の生活」作りの再構築である。昼夕食時間を見直し利用者・職員が食をじっくり共有できる時間の幅を作り食への思いに寄り添った。第二に「居心地の良い共用空間作り」に深化が見られる。即ち、開設後十数年を経て壁紙を白を基調に刷新し、掲示物も張り替え「我が家」の衣替えを行い居心地よく過ごせる工夫をした。第三に「運営に関する職員意見の反映」に深化が見られる。即ち、一日の生活時間の流れの見直しや市販の物とはひと味違う手作りおやつを予算化して提供したり、買い物についてもカタログ一括購入からそれにはない物の現物購入に替える等、主体的な提案を発信・支援出来る職場環境に努めている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を事業所理念として、朝礼時に唱和を行なっています。又、理念を基に施設目標を作り、入居者様・家族様へのサービス向上に努めています。地域に対しても職員に地域密着の施設であることを強く認識でき、地域の一員であることを自覚するために施設目標におりこんでいます。	法人理念を事業所理念とし、それを基に新ホーム長他で策定した事業所年間目標を所内に掲示、朝礼時に唱和してケアを実践する上での原点としている。又、年度末にその目標の検証を行う方針である。更にその目標を踏まえ職員も年間目標を設定し、毎年の個人面談で理念・目標の達成度を振り返り実践に繋げるべく気づきを促している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事へは入居者・職員で参加しています。近隣保育園と入居者の交流も月一度、定期的を実施しています。日頃は地域のスーパーへ入居者と散歩を兼ねて出かけています。	日頃から散歩等で地域住民と挨拶を交わしている。又、町内会に加入し地域清掃に協力したり、夏祭り・亥の子・いきいきサロン等の地域行事に利用者と参加している。音楽療法・舞踊等のボランティアを受け入れる等、相互交流も行っている。更に毎月近隣保育園との世代間交流にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の社会資源である近隣保育園と施設の交流を月に1度、定期的を実施しています。又、地域のスーパー等にも買い物に利用者と一緒に行ったり、公園へ行き地域住人との会話を楽しんでいます。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	入居者の状況報告や施設の取組み・行事等を報告し助言を頂いています。また、地域の行事開催をお訊きする情報交換の場としています。今後も参加者を増やして、様々な意見を多く訊き、取り入れていきたい。	会議は定期的開催され、利用者・地域包括支援センター職員・同業の他事業所職員が毎回、時に家族代表・交番職員が参加している。会議では事業所の現況・活動報告や意見交換が行われ、それを基に安全対策として死角となるエレベーター前にモニター装置を設置することになった経緯がある。	同業他事業所からの実践的助言や参加していない家族へ議事録を送付して事業所運営に関する情報共有や参加促進を図ろうとする工夫もあるが、これまでの会議は多様な意見交換の場とはなっていない様である。民生委員他、知見を有する地域住民に呼びかける案等、様々な職種の参加による多面的議論の展開や会議の活性化を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の開催参加案内や開催後には内容報告を行っています。運営については相談や助言は随時行っています。	運営推進会議には地域包括支援センター職員が毎回参加し情報共有をしている。市担当者とは日頃から相談・報告を行い、運営推進会議の開催報告書の提出や行政主催の虐待・集団指導等の研修会への参加を通して協力関係の構築を図っている。又、生活保護の利用者に対し生活課職員の訪問もある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を3か月に一度必ず実施していきながら、正しいケアを職員が自覚して実践できるよう、『不適切なケア』『身体拘束』『虐待』が行われていないかのチェックシートを作成して実践しています。これを基に管理者を中心に個々に面談等を実施しています。	隔月の研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、独自に作成した「不適切なケア等の点検表」や3ヶ月毎の身体拘束委員会を通して事例検証を行っている。玄関は離設等による事故防止のため施錠する他、主に夜間床センサーマットを設置している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	主に内部研修を実施しています。外部研修への参加も計画しています。スピーチロックを始め、不適切なケアから始まる虐待を防止するため、チェックシート等を利用し職員の意識の向上を図っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修を行ない、権利擁護の知識を深めています。実際に入居者様の中に成年後見人制度を利用されている方もおられるので、日常の業務の中で理解をする機会があります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項・運営規定を理解していただけるよう、説明させていただいています。その時点で質問があれば、納得されるまで説明をさせていただき、その上で契約をしていただきます。解約の時は面談を重ね、十分な説明を行なっています。退居後の支援も行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に出席していただき、率直な意見を聞かせていただいています。問題点や要望があれば早期解決を行い、その都度報告をさせていただきます。カンファレンス時にも意見・要望を聞かせていただき、日常のケアに反映しています。遠方の家族様には手紙・FAX等で近況報告をしています。	利用者の意見は日々の会話の中で、家族とは面会・事前のアンケート調査を踏まえた年1回の家族会・意見箱等を介して管理者他が把握する様に努めており、連絡ノート等で共有している。利用者の要望で得意の針仕事を支援した結果、足マット作りにも挑戦され、生活の活性化に繋がった例がある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ユニット会議・リーダー会議を充足して定期的な会議を開催し、現場の日々の業務の改善に対する提案や意見聴取を行い反映させています。	毎日の申し送り、毎月のユニット会議・リーダー会議・各種委員会、管理責任者との年1回又は随時の個別面談等で意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や個人目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員提案によりおやつを既製品からひと手間かけた手作りおやつに替えた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員に対して、個人面談を定期的に行い、スキル目標・一年後の目標・三年後の目標を聞き、業務に対する考え・意見の聞き取りを行い、給与査定・賞与査定の参考にしてしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修、外部研修問わず、積極的な研修参加を促しています。資格取得に関してもかかる費用や研修費は会社が負担しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他施設と運営推進会議を通じ様々な情報交換を行い他施設の良いところを当施設でも取り組むことが出来ています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にご自宅・施設等に訪問をし、本人様・家族様と一回以上の面談を行い、お話しをさせていただいています。不安なこと・施設で生活される中でのご要望・職員がお手伝いさせて頂けることなど聞かせていただきながら、顔を覚えていただき関係づくりをさせていただきます。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居にあたり、見学時や契約時、面談の際に要望や質問へ応えるようにし、関係づくりに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>施設見学をしていただき、入居様の状況を詳しく伺い、担当ケアマネジャー様からも聞き取りを行い、ケアプランを作成しサービスを開始しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様の尊厳を守りながら、家族の一員であることを認識してゆっくりと『普通の生活』をしていただけるように、朝昼夕の食事を入居者様と食べさせていただき、関係を構築しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>施設目標の中に『家族様と共に支援いたします』という目標を掲げ、面会に来られた家族様に状況報告を行う等、家族様との会話を大切にし、遠方の家族様には電話・FAX等で状況をお知らせし、家族様の要望を聞きながら、共に入居者様を支えていけるよう、関係を構築しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族様や親せきの方の面会、家族様との外出・外泊を大切にさせていただき、家族様に働きかけを行いながら支援しています。</p>	<p>「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしている。近くの家族他の面会や家族の協力も得ながら馴染みの店で会食・墓参り・成人式を迎えた晴れ着姿の孫の訪問等、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様になっている。電話や年賀状等のやり取りも日常的である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	1F・2Fユニットでレクリエーション・行事・外出支援等、交流が出来るようにし、ユニット内においても座る席を工夫して気軽に会話ができるよう考慮しています。食器拭き・洗濯たみ等をしていただきながら会話していただけるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後も様子等を電話でお伺いして、相談が気軽にいただけるようにしています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の話しを傾聴し、家族様が面会に来られた時に普段の様子等を現場職員から報告させていただいたり、カンファレンスの時に本人様の意向を聞き、本人様の意向に沿えるようにサービスの提供を行なっています。又、担当者会議や普段の会話の中から本人様の意向の情報収集に努めています。	利用開始時に利用者の習慣や好み等の情報を集約し、その後はその方の気持ちを大事にしながらゆっくり話す時間を作り、行動を理解する様努め、家族情報も参考に連絡ノート等で共有している。又、意思疎通困難な利用者の眼差しから塗り絵への思いを汲み取り、その思いの表出に繋げた例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活の様子を本人様・家族様・担当ケアマネ様より情報収集を行なっています。他の施設をご利用だった場合には、その施設に出向き、担当者様からの話しも聞かせていただいています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	希望される入居者様には訪問マッサージによる施術を受けていただき、月一度状況の報告を聞き、ADLの把握に努めたりレクリエーション・体操・家事の手伝いを通じ、入居者様の身体状況を把握させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族様参加のカンファレンス・担当者会議での意見、課題等をケアプランに反映して支援を行っています。訪問看護師と現場職員の間で連携が取れるように、医療連携ノートを作成してケアプランに反映できるようにしています。</p>	<p>計画作成担当者が作成した原案を担当者会議で家族に説明・同意を得て本案としている。日々のモニタリングを計画作成担当者が月末に集約し、三ヶ月を基本に計画を見直す。全介助で入院中の利用者が事業所への復帰を望まれ褥瘡防止の下、徐々に改善し声掛けに返事が出来るまでになった例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人記録に気になることや特変等を記録しています。 職員間の情報共有は朝夕礼時の申し送り、連絡ノート等を利用しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個別支援として散歩・お買い物にお連れしたり、家族様に外食・外出に行っていただいたりしています。希望に応じて訪問マッサージを利用していただいています。行事の一環として、地域の中華料理屋から出前を取り、好きなものを選んで食べていただいています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>区民センター内にある図書館を利用したり、郵便局・スーパー・公園・神社等の地域資源を活用できるよう支援させていただいています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>施設協力医への主治医変更の意向確認を契約時に行い、適切な医療が提供できる体制作りをしています。 随時、関係者と連携をとり受診や往診を行っています。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが殆どの利用者は協力医を主治医としている。内科協力医からは週1回往診があり、専門医の受診は主に家族の協力による。定期的な協力歯科医の往診や居宅療養管理指導による薬剤師・医療連携による訪問看護師の来訪等、安心して医療が受けられるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師と現場職員の連携を図る為、医療連携ノートの活用を行いながら、往診時に連絡の漏れがないよう工夫をしたり、24時間訪問看護師と主治医との連絡がつくような体制をとり、現場職員が指示を受けて対応できるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は入院先の相談員、家族との連絡を定期的に行い、再入居に向けて準備をしています。また、定期的な面会にて情報を病院関係者より提供していただいています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に看取りの指針の書面を通して、重度化した場合、看取りに対しての話し合いをご家族様と行います。重度化された場合、医師・ケアマネ・管理者・家族様と担当者会議を行ない、その都度ご家族の意向を聞き、意向に沿えるようにし、グループホームで出来る看取りを理解していただいた上で支援させていただいています。	要望があれば看取りを行なう方針である。入居時に「重度化した場合における対応に係る指針」にて説明し了解を得ている。重度化した際には家族等、関係者で話し合いを行い書面による同意の下、支援を行い数例の経験もある。ホーム長・管理者等の泊まり込み支援や看取り後の振り返りも行う。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AEDの研修・緊急時の対応の研修を始め、緊急時・事故発生時の連絡網を作成し、各ユニットに掲示しています。救命救急の研修も受講しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練を行っています。災害時には警備会社や、近隣住民にも協力していただけるよう連携をとっています。	消防署の立会いも含め、年2回の避難訓練を夜間想定や利用者も参加して行っている。近隣への避難訓練の事前告知や日常的な挨拶等を通して高齢者施設の周知を進める中で地域との協力体制構築に取り組んでいる。又、所内に災害対策として非常食・飲料水・水不要のお尻拭き等の備蓄整備もある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	介護保険法の「尊厳を守る」「自己決定」「自己選択」を職員一人一人に周知していきけるよう、施設目標に織り込み、トイレ誘導時・就寝時等、個人のプライバシーが守られるように支援しています。又、スピーチロックが行われないよう、身体拘束委員会等で事例を取り上げ、職員に周知しています。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者に対する言葉かけも不適切な対応には指導を行い、気づく事の重要性や望ましい対応を意識できる職員育成に取り組んでいる。居室の表札等、個人情報についても利用者・家族の意向に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様から話が傾聴できるよう、施設内の雰囲気や気を配り、入居者様との会話を大切にし、想いを汲み取り、自己決定ができるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の介護度やレベルに合わせ個別レクリエーション・個別支援を行ない、職員の勤務も余裕のあるシフトにして入居者様主体の生活ができるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に季節に合った洋服を準備していただき、好みの洋服を着ていただいています。2か月に一度、訪問美容師にカットしていただいたり、希望に応じてカラーリングもしていただいたりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	軽作業（食器洗いや食事の盛り付け、皮むき、お茶の準備など）や買い物等、保持能力を活かしつつ、楽しい食事となるよう職員が声かけ支援しています。季節に応じて、カレーパーティーや善哉・手作りケーキ等を作り、目でも楽しんでいただけよう、形・色合い等も工夫して提供しています。	三食とも外部委託の献立により調理された食材が運ばれ事業所で加熱・盛り付けを行う。好みによりカレーのルーとご飯を分けたり、食事形態もミキサー食等で対応可能である。利用者は盛り付け他、役割に応じた協力を行い、月に数度の手作り料理・おやつ作り・中華料理の出前等も行っている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士が立てた献立を提供しています。食事量は入居者様に適した量を提供し、水分摂取量は記録により管理を行ない確保しています。入居者様の好みの水分(お茶・コーヒー・紅茶・ポカリスエット等)飽きないように摂取していただく工夫をしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアの声かけや介助を行い清潔保持を促しています。希望者には訪問歯科を調整し、診察しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を活用して、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行なっています。日中はリハビリパンツやパットを使用し、夜間帯はポータブルトイレも使用しています。歩行可能な方は下肢筋力低下を防ぐため、体操の中に足踏み等を取り入れ、生活リハビリを行なっています。</p>	<p>排泄記録表でパターンを把握し、トイレ誘導を基本としている。排泄の自立支援として入院中の紙おむつから紙パンツへの移行や利用者の殆どが紙パンツであり、状態に適応させている。トイレに跳ね上げ式の前手すりや夜間排泄時の転倒防止の為、居室に床センサーマット設置等の環境整備を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取や運動を促し自然排便できるよう取り組んでいます。排便コントロールについては、主治医や訪問看護師と連携し行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>清潔保持の為、週2~3回入浴できるよう支援しています。体調不良の方は清拭を行なっています。手浴足浴等も実施しています。入浴剤等を使用して入浴が楽しめるような工夫をしています。</p>	<p>週2~3回の午後浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせて好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者負担を考慮し、シャワー浴や足浴等に対応することもある。据え置き式家庭浴槽に出入りし易い位置に数本の縦・横手すり等の環境整備の他、冬至の柚子湯・入浴剤等を使用している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>時間に捕らわれず、利用者が自宅で生活しておられた生活リズムで施設でも過ごせるよう支援しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬管理表を用いて、服薬漏れがないようにしています。又、誤薬がないよう、二重確認をしています。入居者様の前にて、声を出して、日にち・名前・○食後等の確認をしています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>家族様に協力していただき、嗜好品を持参していただき提供しています。近所に買い物に行くなどの外出支援を始め、近所の散歩を楽しんでいただけるように機会を作っています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>家族様との買い物・食事・外泊をしていただいています。地域の夏祭り等にも参加していただき、お正月には地元の神社に参拝に行く等の外出支援をしています。</p>	<p>日頃から少人数で公園へ散歩しコンビニで買い物を楽しみ、家族の協力で外食や墓参り等に行く事もある。千田神社での初詣や花見等で季節を感じ、読書好きの利用者と図書館を利用し、町内で盆踊り・地域サロンで百才体操等、普段は行けないような行事に参加し「非日常」を楽しむこともある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>認知症の入居者様なので、個人での持たれ紛失等の事故を防ぐため、家族様と相談して事務所でお金を預かり、個々に必要なもの・外出支援の時に利用者様にお渡しして買い物を楽しんでいただいています。収支は毎月 家族様に報告させていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人希望がある際は、家族への電話や手紙を準備しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた掲示物や装飾を行い、季節感を演出しています。湿度は40%、室温は25度を保てるよう調整しています。ソファを置いて寛げるようにしています。利用者と共同して季節に応じた飾りを居間に飾るなど配慮しています。</p>	<p>正月・七夕他、季節行事の飾り付けや利用者とする壁掛け作品で季節の移ろいが感じられるよう取り組んでいる。掃き出し開口部から明るい光が差し込み、対面キッチンから漂う料理の匂いや音等、居心地よく過ごせる様にしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有空間でも決まり事はなく利用者が自由に過ごせるよう配慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居契約時には、慣れ親しんだものを持ち込んでいただき、居心地良く過ごせるよう工夫しています。家族様の写真や入居前の馴染みのもの・お気に入りの品々を居室に置いて、安心して落ち着かれ居心地の良いスペースを作っています。フルーツや花のプレートをかけ、解りやすく識別できる工夫をしています。</p>	<p>居室にはベッド・クローゼット等が備え付けられ、仏壇・箆笥等、使い慣れた物や家族写真等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。換気や掃除に注意し、更に夜間排泄時の転倒防止のためポータブルトイレや床センサーマットを設置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ユニット内にトイレ・洗面所・お風呂があり、解りやすく移動しやすい動線になっており、台所もユニット内にあり、食事を作る音や匂いが感じられるようになっています。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を事業所理念として、朝礼時に唱和を行なっています。又、理念を基に施設目標を作り、入居者様・家族様へのサービス向上に努めています。地域に対しても職員に地域密着の施設であることを強く認識でき、地域の一員であることを自覚するために施設目標におりこんでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事へは入居者・職員で参加している。近隣保育園と入居者の交流も月一度、定期的の実施しています。日頃は地域のスーパーへ入居者と散歩を兼ねて出かけています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の社会資源である近隣保育園と施設の交流を月に1度、定期的の実施しています。又、地域のスーパー等にも買い物に利用者と一緒に行ったり、公園へ行き地域住人との会話を楽しんでいます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	入居者の状況報告や施設の取り組み・行事等を報告し助言を頂いています。また、地域の行事開催をお訊きする情報交換の場としています。今後も参加者を増やして、様々な意見を多く訊き、取り入れていきたい。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の開催参加案内や開催後には内容報告を行っています。運営について相談や助言は随時行っています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を3カ月に一度必ず実施していきながら、正しいケアを職員が自覚して実践できるよう、『不適切なケア』『身体拘束』『虐待』が行われていないかのチェックシートを作成して実践しています。これを基に管理者を中心に個々に面談等を実施しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	主に内部研修を実施しています。外部研修への参加も計画しています。スピーチロックを始め、不適切なケアから始まる虐待を防止するため、チェックシート等を利用し職員の意識の向上を図っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修を行ない、権利擁護の知識を深めています。実際に入居者様の中に成年後見人制度を利用されている方もおられるので、日常の業務の中で理解をする機会があります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項・運営規定を理解していただけるよう、説明させていただいています。その時点で質問があれば、納得されるまで説明をさせていただき、その上で契約をしていただきます。解約の時は面談を重ね、十分な説明を行なっています。退居後の支援も行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に出席していただき、率直な意見を聞かせていただいています。問題点や要望があれば早期解決を行い、その都度報告をさせていただきます。カンファレンス時にも意見・要望を聞かせていただき、日常のケアに反映させています。遠方の家族様には手紙・FAX等で近況報告をしています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ユニット会議・リーダー会議を発足して定期的な会議を開催し、現場の日々の業務の改善に対する提案や意見聴取を行い反映させています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員に対して、個人面談を定期的に行い、スキル目標・一年後の目標・三年後の目標を聞き、業務に対する考え・意見の聞き取りを行い、給与査定・賞与査定の参考にしています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>内部研修、外部研修問わず、積極的な研修参加を促しています。資格取得に関してもかかる費用や研修費は会社が負担しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他施設と運営推進会議を通じ様々な情報交換を行い他施設の良いところを当施設でも取り組むことが出来ています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>契約前にご自宅・施設等に訪問をし、本人様・家族様と一回以上の面談を行い、お話しをさせていただきながら、不安なこと・施設で生活される中でのご要望・職員がお手伝いさせて頂けることなど聞かせていただきながら、顔を覚えていただき関係づくりをさせていただきます。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居にあたり、見学時や契約時、面談の際に要望や質問へ応えるようにし、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	施設見学をしていただき、入居様の状況を詳しく伺い、担当ケアマネジャー様からも聞き取りを行い、ケアプランを作成しサービスを開始しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様の尊厳を守りながら、家族の一員であることを認識してゆっくりと『普通の生活』をしていただけるように、朝昼夕の食事を入居者様と食べさせていただき、関係を構築しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	施設目標の中に『家族様と共に支援いたします』という目標を掲げ、面会に来られた家族様に状況報告を行う等、家族様との会話を大切にし、遠方の家族様には電話・FAX等で状況をお知らせし、家族様の要望を聞きながら、共に入居者様を支えていけるよう、関係を構築しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族様や親せきの方の面会、家族様との外出・外泊を大切にさせていただきよう、家族様に働きかけを行いながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	1F・2Fユニットでレクリエーション・行事・外出支援等、交流が出来るようにし、ユニット内においても座る席を工夫して気軽に会話が出来よう考慮しています。 食器拭き・洗濯たたみ等をしていただきながら会話していただけるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後も様子等を電話でお伺いして、相談が気軽にさせていただけるようにしています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の話しを傾聴し、家族様が面会に来られた時に普段の様子等を現場職員から報告させていただいたり、カンファレンスの時に本人様の意向を聞き、本人様の意向に沿えるようにサービスの提供を行なっています。又、担当者会議や普段の会話の中から本人様の意向の情報収集に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活の様子を本人様・家族様・担当ケアマネ様より情報収集を行なっています。他の施設をご利用だった場合には、その施設に出向き、担当者様からの話しも聞かせていただいています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	希望される入居者様には訪問マッサージによる施術を受けていただき、月一度状況の報告を聞き、ADLの把握に努めたりレクリエーション・体操・家事の手伝いを通じ、入居者様の身体状況を把握させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族様参加のカンファレンス・担当者会議での意見、課題等をケアプランに反映して支援を行っています。訪問看護師と現場職員の間で連携が取れるように、医療連携ノートを作成してケアプランに反映できるようにしています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人記録に気になることや特変等を記録しています。 職員間の情報共有は朝夕礼時の申し送り、連絡ノート等を利用しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個別支援として散歩・お買い物にお連れしたり、家族様に外食・外出に行っていただいたりしています。希望に応じて訪問マッサージを利用していただいています。行事の一環として、地域の中華料理屋から出前を取り、好きなものを選んで食べていただいたりしています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>区民センター内にある図書館を利用したり、郵便局・スーパー・公園・神社等の地域資源を活用できるよう支援させていただいています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>施設協力医への主治医変更の意向確認を契約時に行い、適切な医療が提供できる体制作りをしています。 随時、関係者と連携をとり受診や往診を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護師と現場職員の連携を図る為、医療連携ノートの活用を行いながら、往診時に連絡の漏れがないよう工夫をしたり、24時間訪問看護師と主治医との連絡がつくような体制をとり、現場職員が指示を受けて対応できるようにしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時は入院先の相談員、家族との連絡を定期的に行い、再入居に向けて準備しています。 また、定期的な面会にて情報を病院関係者より提供していただいています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に見取りの指針の書面を通して、重度化した場合、看取りに対しての話し合いをご家族様と行います。重度化された場合、医師・ケアマネ・管理者・家族様と担当者会議を行ない、その都度ご家族の意向を聞き、意向に沿えるようにし、グループホームで出来る看取りを理解していただいた上で支援させていただいています。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>AEDの研修・緊急時の対応の研修を始め、緊急時・事故発生時の連絡網を作成し、各ユニットに掲示しています。救命救急の研修も受講しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の消防訓練を行っています。 災害時には警備会社や、近隣住民にも協力していただけるよう連携をとっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	介護保険法の「尊厳を守る」「自己決定」「自己選択」を職員一人一人に周知していけるよう、施設目標に織り込み、トイレ誘導時・就寝時等、個人のプライバシーが守られるように支援しています。又、スピーチロックが行われないよう、身体拘束委員会等で事例を取り上げ、職員に周知しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様から話が傾聴できるよう、施設内の雰囲気気を配り、入居者様との会話を大切にし、想いを汲み取り、自己決定ができるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の介護度やレベルに合わせ個別レクリエーション・個別支援を行ない、職員の勤務も余裕のあるシフトにして入居者様主体の生活ができるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に季節に合った洋服を準備していただき、好みの洋服を着ていただいています。2か月に一度、訪問美容師にカットしていただいたり、希望に応じてカラーリングもしていただいたりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	軽作業（食器洗いや食事の盛り付け、皮むき、お茶の準備など）や買い物等、保持能力を活かしつつ、楽しい食事となるよう職員が声かけ支援している。季節に応じて、カレーパーティーや善哉・手作りケーキ等を作り、目でも楽しんでいただけるよう、形・色合い等も工夫して提供しています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士が立てた献立を提供しています。食事量は入居者様に適した量を提供し、水分摂取量は記録により管理を行ない確保しています。入居者様の好みの水分（お茶・コーヒー・紅茶・ポカリスエット等）飽きないように摂取していただく工夫をしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアの声かけや介助を行い清潔保持を促しています。希望者には訪問歯科を調整し、診察しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を活用して、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っています。日中はリハビリパンツやパットを使用し、夜間帯はポータブルトイレも使用しています。歩行可能な方は下肢筋力低下を防ぐため、体操の中に足踏み等を取り入れ、生活リハビリを行っています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取や運動を促し自然排便できるよう取り組んでいます。排便コントロールについては、主治医や訪問看護師と連携して行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>清潔保持の為に、週2～3回入浴できるよう支援しています。体調不良の方は清拭を行っています。手浴足浴等も実施しています。入浴剤等を使用して入浴が楽しめるような工夫をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	時間に捕らわれず、利用者が自 宅で生活しておられた生活リズ ムで施設でも過ごせるよう支 援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬管理表を用いて、服薬漏れ がないようにしています。又、誤 薬がないよう、二重確認をして います。入居者様の前にて、声 を出して、日にち・名前・○食 後等の確認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。	家族様に協力していただき、嗜 好品を持参していただき提供し ています。近所に行くなどの外 出支援を始め、近所の散歩を 楽しんでいただくように機会を 作っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。	家族様との買い物・食事・外 泊をしていただいています。地 域の夏祭り等にも参加して いただき、お正月には地元の 神社に参拝に行く等の外出支 援をしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	認知症の入居者様なので、個 人での持たれ紛失等の事故を防 ぐため、家族様と相談して事務 所でお金を預かり、個々に必 要なもの・外出支援の時に利 用者様にお渡しして買い物を 楽しんでいただいています。収 支は毎月 家族様に報告して いただいています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人希望がある際は、家族への電話や手紙を準備しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に応じた掲示物や装飾を行い、季節感を演出しています。湿度は40%、室温は25度を保てるよう調整しています。ソファを置いて寛げるようにしています。利用者と共同して季節に応じた飾りを居間に飾るなど配慮しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間でも決まり事はなく利用者が自由に過ごせるよう配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居契約時には、慣れ親しんだものを持ち込んでいただき、居心地良く過ごせるよう工夫しています。家族様の写真や入居前の馴染みのもの・お気に入りの品々を居室に置いて、安心して落ち着かれ居心地の良いスペースを作っています。フルーツや花のプレートをかけ、解りやすく識別できる工夫をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ユニット内にトイレ・洗面所・お風呂があり、解りやすく移動しやすい動線になっており、台所もユニット内にあり、食事を作る音や匂いが感じられるようになっていきます。		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームきらら

作成日 令和2年 4月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議が多様な意見交換の場となっていない。	民生委員・町内会長等、知見を有する地域住民の方に会議への参加を呼びかけ、会議を活性化していく。	民生委員や町内会長等へ年間の会議日程表を渡し、参加をお願いする。又、開催月には当事業所から連絡する。	1年間
2	19	当事業所のサービスを受けていて、健康面や医療面、安全面について不安な点がある。	家族様に安心して頂くために、入居者様の様子をこまめに報告する。	家族様が来訪された際は会話を大切にする。また、請求書を送る際に手紙や写真等を同封し、近況を伝える。	1年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。